

教職員の多忙感の解消について

(1) 実態と多忙の原因

①勤務時間外における一人当たりの平均業務時間数（米子市：H29.9.1～30）

●市内の小・中学校教諭の時間外業務時間数は40時間～60時間。

●主な業務内容は、小学校では学級業務，中学校では部活動が多い。

	小学校（教諭）		中学校（教諭）	
	平均業務時間数	主な業務内容	平均業務時間数	主な業務内容
H29.9.1～30	51.7 時間	①学級業務 ②分掌業務	64.0 時間	①部活動 ②分掌業務

②勤務時間外における業務内容（鳥取県：H22.11.15～30）

●授業関係（授業準備・学習指導業務等），分掌業務（学級経営・分掌等），休日は部活動・クラブ活動が多い。

職 種	休日等の区分	授業関係 (授業準備・学習指導業務等)	分掌業務 (学級経営・分掌等)	生徒指導 (生活指導・進路指導等)	部活動・ クラブ活動	その他 (諸会議、研修等)
教 諭	平日	47.8%	28.1%	5.4%	5.5%	13.2%
	休日	40.6%	14.3%	2.9%	32.7%	9.5%

(2) 多忙感解消のための手立て

○今年度より全県で統一して導入した「学校業務支援システム」による，業務（成績処理・表簿作成等）の一元化・簡素化。

○今年度、教員の多忙解消・負担軽減のため、県教育委員会が「教員業務アシスタントに係る非常勤職員」を県内10校に配置（米子市では住吉小学校に配置）。授業で使う学習プリントや学年・学級通信の印刷、理科の実験の準備等、本来学級担任が行う業務をサポートしている。今後も、県教育委員会と連携を図りながら、取組を進めていく予定。

○本年3月に、スポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定。今後、県が策定する方針等を参考に、市としての方針を示す予定。

※本来的には、生徒の健全な心身の成長を促すことを目的としているが、教師にとっても部活動に係る長時間労働が負担増となっている実態もあり、結果として、その軽減につながる面もあると考えている。

○時期的に業務がかさんだり、一部の教職員に偏ったりする状況があれば、校内で業務を分担したり、協働的に行ったりする等、チームで対応しながら解決するような体制改革・整備。